

令和二年第3回 JAMSNET 東京年定例理事会 議事録

日時 : 令和2年12月17日(木曜日)19時30分から21時

場所 : ZOOM オンライン開催

参加者(敬称略)

理事長: 仲本光一

監事 : 古閑比斗志

理事 : 本間俊一, 濱田篤郎(途中退席), 鈴木満, 森博威, バーンズ亀山静子, 中山俊井上祥, 井上孝代(途中退席), 福永佳津子, 岡田慎一郎, 吉田常孝, 松永優子

事務局: 柏原誠, 長谷川真人, 島谷和恵

オブザーバー: 加納良雄(JAMSNET 事務局)

=====

1. 理事長挨拶、議長、書記・議事録署名人指名

議長: 仲本理事長 (司会進行: 鈴木理事)

書記: 長谷川真人、島谷和恵

議事録署名人: 福永佳津子、岡田慎一郎

2. 報告事項

2-1. JAMSNET の使命について: 本間理事より

JAMSNET は元々New York 周辺の団体が集まって出来た組織で、官民交流により邦人支援を行うことを理念としている。JAMSNET 東京の役割は世界の JAMSNET 関連団体を支援する意味でも重要で、団体としての信頼性を得るためにはNPO 法人というステータスは重要。

追加報告: JAMSNET ワールド会議について: バーンズ理事より

先日の JAMSNET ワールド会議は初のバーチャル会議であったが、円滑に実施出来た。今後世界各地の JAMSNET と密な連携を行っていくために、代表者会議を頻繁に行っていきたい。第1回 JAMSNET ワールドリーダーシップ会議は2021年2月6日を予定している。

JAMSNET の活動について: 加納様より

各国の事情は異なるが NPO 法人としての活動は大切である。ジャムズネット東京と JAMSNET-Asia が良い連携をしていくことを望んでいる。

2-2. メルボルンでの開催事業について: 鈴木理事より

在豪邦人メンタルヘルス対策のための官民協働オンライン PFA 研修会を実施した(JAMSNET 東京・心の架け橋いわての共催)。詳細は添付資料1参照。

審議事項:

「在豪邦人メンタルヘルス対策のための官民協働オンライン PFA 研修会」については、ジャムズネット東京が共催するか否かについての決議がなされておりませんでした。複数

の理事から共催につき、反対意見が出ましたが、審議がなされず、従って共催の決定がなされないまま、実施されたものでした。

従って、開催そのものの合意を得ず、共催の決議が出されていなかったために、本研修会にジャムズネット東京は関与せず、講師謝金が発生する案件ではないと確認されました。

理事長は、本件に関して出されたすべての意見を見逃すことなく議論の場に上げるべきで、その上で再度、共催の可否を問う決議を行うべきであり、また提案者は、提案の内容につき十分に説明を尽く努力をすべき点で、反省すべき案件でした。

本件、および心の架け橋いわてとジャムズネット東京との共同活動方針は今後、審議継続。

心の架け橋いわてとジャムズネット東京との関係性については活動記録誌をご参照下さい。

※こちらから復興への軌跡.pdf をクリック⇒ <http://kokorogake.org/activity/history10/>

#### 2-3. 勉強会について：松永理事より

2020年11月21日にzoomにて開催。森博威先生が「タイ国境、食、文化と熱帯病」について、山田佐世子先生が「もしバナゲーム」についてお話し下さった。

参加者は20名。勉強会に関する事前の広報活動は今後の課題としたい。

#### 2-4. 事務局関連：長谷川事務局員より

事務所移転に伴う法務局への登記手続きが完了し登記簿本取得済み。東京都への届け出も完了。今後は税務署、銀行へ事務局住所変更手続きとデビットカード作成を検討。

#### 2-5. メルマガ配信：柏原事務局員より

7月5日開催のオンライン交流会の報告書のメルマガ配信を終了。今後のメルマガ配信計画について審議をお願いしたい。→広報担当理事・事務局で今後検討。

### 3. 審議事項

#### ・3-1. 令和2年度の下半期以降の活動

##### 3-1-1: デビットカード作成について：長谷川事務局員より

今後業務効率化のため、法人用デビットカード（年会費無料）を作成したい。

→作成手続きを進めることで承認

##### 3-1-2: 会員に対するアンケート（事前理事アンケート）：島谷事務局員より

理事・会員向けのアンケートを実施したい

→アンケート内容が適切であれば、理事・会員へアンケートを実施すべき。

今後事務局にてアンケート案を作成し、理事会にて審議継続。

JAMSNETの理念に沿った内容を考えてもらうべき。5-6つ位（本間理事より）。

・ 3-2. イベント開催企画

3-2-1: 在アジアおよび在豪邦人メンタルヘルス対策のための産学官民協働

オンライン情報交換会企画：鈴木理事より

添付資料2に沿って、企画を説明。主催、共催、後援の形態も検討して欲しい。

→謝金は心の架け橋いわての事務局員に対して支払う予定。JAMSNET-Asiaにも協力を要請することとする。JAMSNET 東京としての具体的な関わり方については審議継続。

添付資料3に関しては説明が無かったが、今後の審議事項

3-2-2: 来年度講演会（総会）について：岡田理事より

開催日程は2021年6月27日、オンラインと対面のハイブリット形式で予定

講演会に合わせて年次総会も実施。→承認

・ 3-3 今後の JAMSNET 東京のガバナンスについて：仲本理事より

本 NPO の重要な活動の中心である、ホームページでの情報提供・メール等での一般からの相談対応他につきまして、担当理事を決めてお任せしていきたい。総会・理事会の議事録については、会員専用ページに遅滞なく掲載してお知らせするなど、会員への説明につき透明性を確保していきたい。

→担当理事は審議継続・相談事業に関しても審議継続（前回理事会からの継続審議事項）

3-3-1 JAMSNET 東京の活動内容の確認（定款）

→特に審議なし

3-3-2 JAMSNET 東京の来年度以降、NPO 法人継続について

NPO 法人継続・会費徴収は、基本このままで良い。事務局作業の外注案も検討。

→審議継続（次回理事会で多数決にて決議か）

NPO 法人継続を検討する際に、事務局の業務負担に関する考慮もして欲しい  
（柏原事務局員）

3-3-3 来年度以降の理事長・理事の選出について

現在の理事の任期については監事の和田先生に定款・議事録を確認いただき、2020年7月から2年と解釈して良いとの言を頂いた。ただこれまで明確に総会で協議してなかったのが、来年度の総会以降、今から2年などと明確に宣言して、再来年度の理事・理事長については1年かけてしっかり協議・選出したいと考える。

※中途での役員の退職はいつでも可能。その場合は、担当理事の役職につき他の理事に引き継いで貰う（引き継ぎについては定款にも記載あり）。

→理事長の登記状況を確認し、次回の理事会にて審議継続。

→以上全ての継続審議事項は次回の臨時理事会にて検討し決議予定。臨時理事会の日程は岡田総務理事が調整予定

4. その他、追加項目

○継続審議案についての採決方法について

→理事会での採決方法に関しては定款(第 35, 36 条)に記載あり。

○事務局負担減の具体策について

→特に審議なし、今後審議継続。

○加納様よりアドバイス

→NPO 法人としては、定款に沿って活動していくことが必要。

定款の内容を把握し、定款に記載されていないことは審議し適宜定款変更が必要。

以上

仲本議長は、以上をもって本日の議案の審議を終了した旨を述べ、21 時閉会した。

以上の議事の経過の概要および議決の結果を明確にするために、この議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人が記名する。

令和二年 12 月 17 日

特定非営利活動法人 JAMSNET 東京

議 長 仲本 光一

議事録署名人 福永佳津子

議事録署名人 岡田慎一郎